

# あなたは、定期接種対象者ですか？

## 対象者

# 65歳の方が対象です。

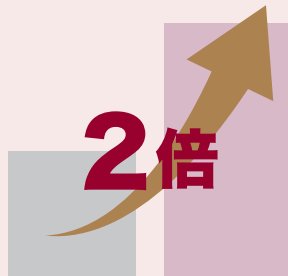
※60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の辺の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方も対象となります。

定期接種を受けられるのは、

# 1年間に限られます。

- これまでに、23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンを1回以上接種した方は、定期接種での接種を受けることができません。
- 公費助成の有無やその内容は、お住まいの市区町村によって異なる場合があります。

60～64歳に比べ  
65歳～69歳の  
肺炎での  
死亡リスクは



厚生労働省、人口動態統計(確定数)2022年

実は多い、肺炎球菌による肺炎  
肺炎球菌は日常でかかる肺炎の原因のうち  
第1位の細菌です<sup>1)</sup>。

1)日本呼吸器学会、成人肺炎診療ガイドライン2017 p10

**肺炎球菌感染症の予防接種は、  
すべての肺炎を防ぐものではありません。**

**23価肺炎球菌ワクチンの接種を希望する方へ**

# 肺炎球菌による感染症は肺炎だけではありません。 侵襲性肺炎球菌感染症を知っていますか？

## 侵襲性肺炎球菌感染症とは？

肺炎球菌感染症のうち、髄液や血液など本来無菌である部位から

肺炎球菌が検出された感染症を侵襲性肺炎球菌感染症と言います。

肺炎球菌による髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などが該当します。

岡部信彦ほか、4 肺炎球菌感染症、一般社団法人日本ワクチン産業協会 PR委員会・編集委員会(編)、  
予防接種に関するQ&A集2023、第23版、一般社団法人日本ワクチン産業協会、p100-121、2023。

## 侵襲性肺炎球菌感染症になると？

侵襲性肺炎球菌感染症患者さんのうち、

22.1%  
死亡



8.7%  
後遺症が残る



入院後  
死亡が確認された患者では  
54.3%が  
入院から  
2日以内に死亡



厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業  
「重症型のレンサ球菌・肺炎球菌感染症に対するサーベイランスの構築と病因解析,その診断・治療に関する研究」  
[http://strep.umin.jp/pneumococcus/case\\_study.html](http://strep.umin.jp/pneumococcus/case_study.html) (2023/11/28アクセス)